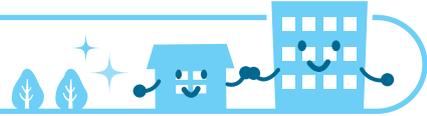


# 白幡地区・神西地区・神北地区・六角橋地区 【反町地域ケアプラザエリア②】

## 地域の特性



### (1) データで見る地域の概要

このエリアは区内で最も65歳以上人口比率が高く、75歳以上人口比率も2番目に高くなっています。地区連合でも65歳以上人口比率は白幡地区が21連合中2番目、神北地区が3番目、六角橋地区が4番目に高く、75歳以上人口比率も神北地区・六角橋地区がそれぞれ2番目、白幡地区が4番目と上位を占め、エリア内の65歳以上人口は区全体の21.5%となっています。

0～6歳人口比率は区内で最も低く、地区連合でも神北地区が21連合中1番目、六角橋地区が3番目、白幡・神西地区が4番目に低くなっています。

エリア内には地区センター、コミュニティハウス、エコライフかながわ、病院、11の小中高校（公私立）、専門学校、大学、障害者の地域作業所があり、東神奈川駅方面には公会堂や図書館、老人福祉センター等、また横浜上麻生線周辺には商店街があります。

区内で最も高齢化が進んでいますが、地域ケアプラザは未整備で、反町地域ケアプラザの担当エリアになっています。

#### 基礎数値（人口、世帯、高齢化率等）

（平成21年3月末現在）

地区名	人口（人）	世帯数	0～6歳 人口比率（%）	65歳以上 人口比率（%）	75歳以上 人口比率（%）	単身世帯比率（%）	
						65歳以上	75歳以上
白幡	12,673	6,322	4.4	22.7	11.2	12.4	7.2
神西	5,453	3,188	4.4	18.4	8.5	10.2	5.6
神北	10,561	5,860	4.1	22.3	11.3	11.9	7.1
六角橋	13,274	7,221	4.3	22.0	11.3	12.6	7.9
4地区合計	41,961	22,591	4.3	21.8	10.7	12.0	7.2
神奈川区全体	227,164	113,856	5.8	18.8	8.7	10.7	6.2

### (2) 行われている主な活動

- ◆ 高齢者の会食会や配食活動、障害者地域活動ホームでの昼食づくり等が行われています。
- ◆ 親子のたまり場「すくすく子がめ隊」（区内36か所中12か所）や白幡の森プレイパーク等での子育て支援が行われています。
- ◆ ウォーキングや体操教室等の健康づくり活動が行われています。
- ◆ 学校と連携し、小学生と高齢者の会食等の交流が行われています。

### (3) 地域の課題

#### 【1】隣近所で見守りあう関係づくり

高齢者の会食会や配食が行われていますが、高齢化により、さらに隣近所の支えあいや見守りあう関係づくりが重要になっています。そのためには、地域の中や世代間の交流により顔の見える関係をつくること、支えあいの担い手の確保が必要です。

#### 【2】災害時の要援護者の支援

高齢化が進行し災害時の支援体制づくりが必要となっています。中丸町内会は平成21年度の「災害時要援護者対策支援事業モデル地区」に指定され、要援護者の支援体制づくりの取組を開始しています。エリア全体での、災害時に助け合えるしくみづくりが必要となっています。

## 地区ごとの「重点課題」と「取組」

## 白 幡 地 区

重点課題：隣近所で見守り合う  
関係づくりすぐに  
取り組む  
こと

〔自治会町内会〕

- 日々のあいさつや回覧板の手渡しを心がけ、隣同士で様子を確認し見守り合います。
- 小中学生に町内会行事（ラジオ体操、餅つき、まつり等）に参加してもらえよう、学校と連携していきます。
- 自治会町内会の会合で班長同士の意見交換を定期的に継続していきます。

〔民生委員児童委員、ふれあい訪問員〕

- 定期的な見守り活動や会食会など高齢者と交流できる機会を生かし、高齢者が必要としている情報を提供するとともに、高齢者が求めていることを把握します。

時間を  
かけて  
取り組む  
こと

〔自治会町内会〕

- ひとり暮らし高齢者等への見守りや支援についての情報を蓄積し、町全体をまとめるために、台帳を作成していきます。

## 神 西 地 区

## 重点課題：顔の見える関係づくり

すぐに  
取り組む  
こと

〔自治会町内会、民生委員児童委員〕

- 日々のあいさつを積極的に行います。
- 以前からの住民が中心となって自治会町内会活動への参加を働きかけます。
- 月に1度、高齢者を対象に、町内会館の開放や、町会婦人部の食事会への招待を行い、交流を深めます。
- アンケートや行事を通じて住民の声や求めているものを整理していきます。
- アパート・マンションの管理人や管理組合と話し合う場を設けます。
- 現在あるつながりを生かして子ども会の行事に積極的に参加します。  
また、商店などとの顔のつながりを発展させます。

時間を  
かけて  
取り組む  
こと

〔自治会町内会、民生委員児童委員〕

- 顔の見えるつながりをつくり、その中から地域活動に取り組む協力者を募っていきます。
- 自治会町内会の行事をPRするチラシ等の掲示場所を増やします。
- 高齢者サロンのような気軽に集まれる場を設け、情報交換を行います。
- 障害のある方が、どのような支援を求めているかを把握していきます。

## 神 北 地 区

### 重点課題：個人情報に配慮しながらの 要援護者の把握

すぐに  
取り組む  
こと

〔自治会町内会〕

- 隣近所の情報を把握し、定期的な民生委員児童委員との会議で情報の更新を行います。

〔民生委員児童委員、こんにちは赤ちゃん訪問員〕

- こんにちは赤ちゃん訪問事業を活用して、子育てに関する情報を伝えます。

〔自治会町内会、民生委員児童委員、ふれあい訪問員〕

- ひとり暮らし高齢者等を把握し、見守りやあんしんカードの配布を行うなど常に声をかけるようにします。

〔保健活動推進員〕

- 高齢者との会話を通じて健康状態の情報を得ます。普段と様子が異なる場合は訪問して状況を把握します。

時間を  
かけて  
取り組む  
こと

〔自治会町内会〕

- 昼食会や班ごとに懇談会などを開催し情報を把握します。

- 活動をPRして町内の取組を理解してもらい、会員名簿の作成協力を依頼します。

- 個別訪問時に防災グッズを配布して要援護者の聞き取りアンケートを実施し、状況を把握します。

- 本人の了解を得て、要援護者を記載したマップを作成します。

- 要援護者を支援する人の名簿づくりに取り組みます。

〔自治会町内会、民生委員児童委員〕

- 民生委員児童委員やふれあい訪問員が得た情報を自治会町内会で共有できるしくみをつくります。

## 六 角 橋 地 区

### 重点課題①：新たな担い手の発掘

すぐに  
取り組む  
こと

〔自治会町内会〕

- 自治会町内会の諸活動を積極的にPRします。

- 定例会議で話し合われた内容は、役員を通じて周知します。

- 地域の諸活動の中で今後の担い手に声をかけていきます。

時間を  
かけて  
取り組む  
こと

〔自治会町内会〕

- まつりや健民体育祭のときに町内の若い人に声をかけ、時間をかけながら活動へ誘導します。

- 60～65歳位の人を対象に、時間をかけて役員就任を依頼します。

- 年数回の会合で各役員職の説明を行います。負担軽減のため役職を分散化します。

### 重点課題②：各世代が交流する機会の工夫

すぐに  
取り組む  
こと

〔自治会町内会、子ども会、老人会、地区社会福祉協議会〕

- 地域活動交流委員会を通じて、地域の交流を図ります。

- 祭礼のときに自治会町内会、子ども会、老人会が相互に交流できる活動をします。

時間を  
かけて  
取り組む  
こと

〔個人の取組〕

- 我が家を開放するなど様々な世代が集えるたまり場をつくります。

〔自治会町内会、民生委員児童委員〕

- 「すすくす子がめ隊」の場で若い母親達と高齢者世代が交流します。

- 班単位で食事会を開き、若い人に声をかけて参加者同士で学びあいながら交流します。

## 重点課題に対する区役所の取組

### 重点課題：「隣近所で見守り合う関係づくり」「顔の見える関係づくり」

#### 【ふれあい訪問事業】

地域でのひとり暮らし高齢者等の見守りに、必要な情報提供や研修を行います。

#### 【すくすくかめっ子事業】

地域の親子のたまり場「すくすく子がめ隊」の運営を支援します。

### 重点課題：「個人情報に配慮しながらの要援護者の把握」

#### 【災害時要援護者対策支援事業】

地域と協働し、地域における災害時要援護者の支援体制づくりを行います。



### 重点課題：「新たな担い手の発掘」「各世代が交流する機会の工夫」

#### 【ボランティア活動のきっかけづくり・情報の提供】

ボランティアを希望する人と必要とする団体等がつながるよう、講座や情報提供、関係機関との連携を行います。

#### 【福祉・保健の拠点による情報発信】

地域ケアプラザ、福祉保健活動拠点、「かながわ地域活動ホームほのぼの」、子育て支援拠点「かなーちえ」、区民活動支援センターにおいて地域活動に必要な情報を収集・提供します。

#### 【地域ケアプラザ整備】

地域の福祉保健活動の拠点として地域ケアプラザの整備に取り組みます。



## 地域を支援するための反町地域ケアプラザの取組

- 在宅で高齢者を介護している方たちの集まりを、地域ケアプラザ以外の場所にも増やしていきます。
- 支援が必要な障害者や高齢者が地域と交流する機会として、反町地域ケアプラザ周辺の障害者施設や高齢者施設と共催で実施している福祉まつりを引き続き行います。
- 地域の方を対象に実施しているサロン事業の発展により、幅広く世代間交流できる「場」の提供を行います。
- ボランティア活動や地域の情報がいつでも必要な時に利用できるよう、情報の収集・蓄積・更新を行います。また、地域ケアプラザの利用者や、地域の方が必要としている介護保険をはじめとした様々な情報を分かりやすく発信していきます。
- 地域ケアプラザでボランティア活動をしている方や団体の交流会を実施し、活動団体相互の連携を活発にします。
- 民生委員児童委員が実施しているミニデイサービスや、地域のボランティア団体等との連携により、支援を必要としている方の把握に努め、必要な情報提供などを行います。
- 区社会福祉協議会等と連携し、ボランティアの育成を行います。
- 地域のネットワークづくりの支援に取り組みます。